

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年3月1日作成)

委員会名	住宅の地方性小委員会	主 査 名：西島 芳子
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納 成男
設 置 期 間	2002年 4月 ～ 2005年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	1. 気候・風土の違いによる住宅の地方性の探求、2. 都市レベルにおける住宅の地方性の探求、3. 地域における住宅問題・住宅需要の把握と住宅政策への提言を主目的としている	
委員構成 (委員名(所属))	西島芳子(高知大), 碓田智子(大阪市大), 久保加津代(大分大), 鈴木浩(福島大), 中島明子(和洋女子大), 長谷川洋(国総研), 眞嶋二郎(北大), 間野博(県広島大), 三宅醇(東海学園大), 森本信明(近大), 吉田友彦(筑波大)	
設置 WG (WG名:目的)	地域からの住まいづくりWG 住まい・まちづくり教育WG	
2004 年度予算	70000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004/10/10 2005/3/3
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>毎年各地における研究会開催(春期)と大会時の研究会の年2回のオープンな研究会を開催してきた。またほぼ2年ごとに大会協議会・PD開催をしてきた。さらにほぼ10年に1度の出版事業を行っている。</p>
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>6月にシンポジウム「21世紀のハウジングを語る」(大阪)を開催し、これまでの豊かな研究成果を踏まえた3人のパネラーが21世紀のハウジングの展望を示した。多くの学生を含め約110名が参加した。学会時の定例研究会は「これからの地域居住政策のあり方―新・札幌市住宅基本計画を事例として―」札幌市で開催され、約50名が参加した。出版事業は「地域からの住まいづくり―住宅マスタープランを超えて―」と題する出版の編集委員会を小委員会内に設置し、年3回程度持ち、活動した。また2005年度大会PDへの開催に向け、準備を進めている。</p>
その他評価すべき事項	